

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

A 重油ボイラ及びC 重油ボイラから  
都市ガスボイラへの更新プロジェクト

排出削減事業者名：艶栄工業株式会社

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	艶栄工業株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	本社工場
住所	〒443-0044 愛知県蒲郡市宝町 2-29
排出削減事業共同実施者（J-クレジット保有予定者）	
排出削減事業 共同実施者名	株式会社 F T カーボン
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

A 重油ボイラ及び C 重油ボイラから都市ガスボイラへの更新プロジェクト

### 2.2 排出削減事業の目的

A 重油ボイラ 2 基及び C 重油ボイラ 1 基を都市ガスボイラ 7 基へ更新する。高効率の都市ガスボイラへ更新し、単位発熱量あたりの CO2 排出量が少ない都市ガスへ燃料転換することで、CO2 排出量を削減する。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

A 重油ボイラ 2 基及び C 重油ボイラ 1 基を都市ガスボイラ 7 基へ更新する。高効率の都市ガスボイラへ更新することで、省エネルギーを図り、CO2 排出量を削減するとともに、単位発熱量あたりの CO2 排出量が少ない都市ガスへ燃料転換することによって、CO2 排出量を削減する。

### 2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

#### 6.2 モニタリング対象指標の QA/QC 都市ガス使用量

(変更前) 排出削減事業担当者が、ガス会社から送付される「ガス使用量請求書」をファイリングする。

(変更後) 排出削減事業担当者が、ガス会社から送付される「ガス使用量請求書」をファイリングし、「ガス乾燥機で使用したガスのメーター値」を差し引く。

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2012年12月10日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2016年4月28日 ～ 2018年3月29日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は採用しない。

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

#### 4.3 事業の範囲（バウンダリー）

都市ガスボイラ及びボイラから蒸気の供給を受ける設備

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更あ る場合、) 変更理由
$F_{\text{fuel,PJ}}$	都市ガス使用量	Nm <sup>3</sup>	4,290,561	ガス請求書 ガス乾燥機のメーター値 (m <sup>3</sup> から Nm <sup>3</sup> への換算係数 0.957、 東邦ガス)	ガス乾燥機のメーター 値を差し引く
$HV_{\text{fuel,PJ}}$	都市ガスの単位発熱量	GJ/Nm <sup>3</sup>	0.0450	J-クレジット制度デフォルト値	変更なし
$\varepsilon_{\text{PJ}}$	事業実施後都市ガスボイラ効 率	%	88.20 (高位発熱量)	カタログ値	変更なし
$\varepsilon_{\text{BL-1}}$ $\varepsilon_{\text{BL-2}}$	事業実施前 A 重油ボイラ効率 事業実施前 C 重油ボイラ効率	%	<b>【A 重油ボイラ】 88.35</b> (高位発熱量) <b>【C 重油ボイラ】 83.85</b> (高位発熱量)	カタログ値	変更なし
$CF_{\text{fuel,BL-1}}$	A 重油の単位発熱量あたりの CO <sub>2</sub> 排出係数	tCO <sub>2</sub> /GJ	0.0708	J-クレジット制度デフォルト値	変更なし
$CF_{\text{fuel,BL-2}}$	C 重油の単位発熱量あたりの CO <sub>2</sub> 排出係数	tCO <sub>2</sub> /GJ	0.0741	J-クレジット制度デフォルト値	変更なし
$CF_{\text{fuel,PJ}}$	都市ガスの単位発熱量あたり の CO <sub>2</sub> 排出係数	tCO <sub>2</sub> /GJ	<b>0.0513</b>	J-クレジット制度デフォルト値	変更なし

## 6 排出削減量の計算

### 6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
4,290,561 (Nm3)	0.0450(GJ/Nm3)	0.0513 (tCO2/GJ)	
EM <sub>PJ</sub>			9,904.8 (t-CO2)

### 6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
4,290,561 (Nm3)	0.0450(GJ/Nm3)	0.0708 (tCO2/GJ)	
34.9830 (%)			
88.20 (%)			
88.35 (%)			
4,290,561 (Nm3)	0.0450(GJ/Nm3)	0.0741 (tCO2/GJ)	
65.0170 (%)			
88.20 (%)			
83.85 (%)			
EM <sub>BL</sub>			14,558.4 (t-CO2)

### 6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

### 6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	14,558.4
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>PJ</sub>	9,904.8
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	4,653

## 7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン-実績 (①-②)
5,146.4	4981.3	165.1

$$\text{省エネ量} = 1,739.7 + 3,406.7 - 4,981.3 = 165.1(\text{kL})$$

## 8 再生可能エネルギー利用量

本事業は再生可能エネルギーを利用しない。